

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

新潟市 結婚・出生に関する意識調査 ご協力をお願い

日ごろより市行政にご理解とご協力をたまり誠にあつたごさいま
す。

新潟市では、市民の皆さまの結婚、妊娠、出産、子育てに関する状況と
意識を把握し、必要な支援について検討するため、「新潟市 結婚・出生
に関する意識調査」を実施します。

個人的なことに立ち入った内容も含まれますが、調査の趣旨をご理解い
ただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

また、この調査は、市内にお住まいの18歳から49歳（令和4年4月
1日時点）までの男女から、無作為に選んだ方を対象に実施するもので
す。ご回答いただいた内容は、調査結果をまとめるために利用し、回答者
個人が特定されることは一切ごさいません。

令和4年6月

新潟市こども未来部こども政策課

あなた自身のことについて伺います。

Q1. あなたの性別は？（1つ選択）

- 男性
- 女性
- 答えたくない

Q2. あなたの年齢（令和4年4月1日現在）は？（1つ選択）

- 18～19歳（10代）
- 20～24歳（20代前半）
- 25～29歳（20代後半）
- 30～34歳（30代前半）
- 35～39歳（30代後半）
- 40～44歳（40代前半）
- 45歳～（40代後半以上）

Q3. あなたがお住まいの区は？（1つ選択）

- 北区
- 東区

- 中央区
 - 江南区
 - 秋葉区
 - 南区
 - 西区
 - 西蒲区
-

Q4. あなたは現在独身ですか。既婚ですか。（1つ選択）

- 独身（離別、死別を含む）
 - 既婚（事実婚等を含む）
-

次へ

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

『**独身の方**』に伺います。

Q5. 卒業・在学の別について（1つ選択）

- すでに卒業
- 現在、在学中（休学等を含む）

Q6. 最後に卒業した（または在学中の）学校（1つ選択）

- 中学校
- 高校
- 専門・専修学校（高卒後）
- 短大・高専
- 大学
- 大学院
- その他

戻る

次へ

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

あなたのお仕事についておたずねします。

Q7. <最後に学校を卒業した直後>のおつとめの状況をお答えください。
※在学中の方は、前の学校を卒業した直後の状況についてご記入ください。

- 正規の社員・職員
- パート・アルバイト
- 派遣・嘱託・契約社員
- 自営業主・家族従業員
- 無職・家事
- 学生

戻る

次へ

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

Q8. <最後に学校を卒業した直後>の職種をお答えください。

- 主として農林漁業
- 農林漁業以外の自営業
- 専門職
- 管理職
- 事務職
- 販売・サービス業
- 工場などの現場労働

Q9. <最後に学校を卒業した直後>のおつとめ先の従業員数（本社・支社を含む）をお答えください。

- 1～9人
- 10～29人
- 30～99人
- 100～299人
- 300～999人
- 1000人以上
- 官公庁

戻る

次へ

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

Q10. あなたのお仕事についておたずねします。
<現在>のおつとめの状況をお答えください。

- 正規の社員・職員
 - パート・アルバイト
 - 派遣・嘱託・契約社員
 - 自営業主・家族従業員
 - 無職・家事
 - 学生
-

[戻る](#)

[次へ](#)

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

Q11. <現在>の職種をお答えください。

- 主として農林漁業
- 農林漁業以外の自営業
- 専門職
- 管理職
- 事務職
- 販売・サービス業
- 工場などの現場労働

Q12. <現在>のおつとめ先の従業員数（本社・支社を含む）をお答えください。

- 1～9人
- 10～29人
- 30～99人
- 100～299人
- 300～999人
- 1000人以上
- 官公庁

Q13. 勤務する日1日の平均的な労働時間

	時間	分
1日あたり平均	<input type="text"/>	<input type="text"/>

Q14. 1週間の平均的な労働日数

週あたり平均 日

Q15. 現在の仕事の勤続または継続年数
※1年未満の場合は、1年としてください

およそ 年

Q16. 先月の収入（月収）

約 万円

昨年（2021年）の収入（年収）

※給与収入の場合は、所得税や保険料が引かれる前の額を記入してくださ

Q17. い。

※事業収入の場合は、売上から材料費など必要経費を引いた額を記入してください。

- 1～99万円
- 100万円台
- 200万円台
- 300万円台
- 400万円台
- 500万円台
- 600万円台
- 700万円台
- 800万円台
- 900万円台
- 1000万円以上
- なし

[戻る](#)

[次へ](#)

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

Q18. あなたの父親と現在のあなたとの同居/別居についてお答えください。
(1つ選択)

- 同居
- 区内で別居
- 市内（別の区）で別居
- 県内（別の市町村）で別居
- 県外で別居
- すでに亡くなった
- わからない

Q19. あなたの母親と現在のあなたとの同居/別居についてお答えください。
(1つ選択)

- 同居
- 区内で別居
- 市内（別の区）で別居
- 県内（別の市町村）で別居
- 県外で別居
- すでに亡くなった
- わからない

Q20. あなたはこれまでに結婚（届け出したもの）をしたことがありますか。
(1つ選択)

- ない
- ある（離別した）
- ある（死別した）

あなた（男性の場合は妻やパートナー）がこれまでに生んだお子さんにつ
Q21. いてお答えください。
これまでに生んだお子さんの数（1つ選択）

- 子どもはいない
- 1人
- 2人
- 3人
- 4人以上

[戻る](#)

[次へ](#)

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

Q22. 【お子さんがいる方のみ回答】
お子さんとの同居の有無（1つ選択）

- 現在同居している子どもがいる
 - 現在同居している子どもはいない
-

戻る

次へ

37%

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

Q23. あなたには現在、交際している異性がありますか。（1つ選択）

- 交際している異性はいない
 - 友人として交際している異性がある
 - 恋人として交際している異性がある
 - 婚約者がいる
-

戻る

次へ

83%

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

Q24. 異性との交際の希望（1つ選択）

- 交際を望んでいる
 - 特に交際を望んでいない
-

戻る

次へ

41%

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

Q24. (最も親しい)交際相手との結婚の希望 (1つ選択)

- 結婚したいと思っている
 - 特に結婚は考えていない
-

戻る

次へ

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

交際している異性がおらず『交際を望んでいる』
を選択した方に伺います。

（1）コロナ禍（2019年12月以降）となりコロナ禍以前と比べて、異性
Q25. との出会いの変化として最もあてはまるもの1つを回答してください。

（1つ選択）

- 新たな出会いが非常に増加した
- 新たな出会いが増加した
- 変化なし
- 新たな出会いが減少した
- 新たな出会いが非常に減少した
- わからない

（2）交際を前提とした異性との出会いを望む場合、どのような出会い方
Q26. を希望しますか。あてはまるもの3つに選択をつけてください。

- 学校で
- 職場や仕事の関係で
- アルバイトで
- 幼なじみ、隣人関係
- 学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で
- 友人やきょうだいを通じて
- 見合いで（親戚や上役などの紹介も含む）
- 結婚相談所で
- インターネットで（マッチングアプリを含む）
- 婚活イベントで
- 地域のイベントで
- 街なかや旅先で
- その他

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

『**現在交際相手がいる方**』に伺います。
(最も親しい)交際相手とは、(1) いつ頃、(2) どのようなきっかけで
知り合いましたか。また、(3) 交際期間はどれくらいですか。

Q25. (1) いつ頃

あなたが 歳の頃

Q26. (2) 知り合ったきっかけ

- 学校で
- 職場や仕事の関係で
- アルバイトで
- 幼なじみ、隣人関係
- 学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で
- 友人やきょうだいを通じて
- 見合いで（親戚や上役などの紹介も含む）
- 結婚相談所で
- インターネットで（マッチングアプリを含む）
- 婚活イベントで
- 地域のイベントで
- 街なかや旅先で
- その他

Q27. (3) 交際期間

	年	ヶ月
交際期間	<input type="text"/>	<input type="text"/>

戻る

次へ

50%

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

Q28. 今のあなたにとって、結婚することに何か利点があると思いますか。

- 利点があると思う
 - 利点はないと思う
-

戻る

次へ

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

利点があると思うと答えた方に伺います。

Q29. 利点を上位2つまで選択してください。

※左のリストから右欄にドラッグ&ドロップし、順に並べてください。

経済的に余裕がもてる
社会的信用を得られる
精神的なやすらぎの場が得られる
現在愛情を感じている人と暮らせる
自分の子どもや家族をもてる
性的な充足が得られる
生活上便利になる
親から独立できる
親を安心させたり周囲の期待にこたえられる
その他



Q30. 「その他」を選択した方は、その他の内容を入力してください。

戻る

次へ

58%

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

Q31. 今のあなたにとって、独身生活には結婚生活にない利点があると思いますか。

- 利点があると思う
 - 利点はないと思う
-

[戻る](#)

[次へ](#)

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

利点があると思うと答えた方に伺います。

Q32. 利点を上位2つまで選択してください。

※左のリストから右欄にドラッグ&ドロップし、順に並べてください。

行動や生き方が自由
異性との交際が自由
経済的に余裕がもてる
住宅や環境の選択肢の幅が広い
家族を養う責任がなく、気楽
友人などとの広い人間関係が保ちやすい
職業をもち、社会とのつながりが保てる
現在の家族とのつながりが保てる
その他



Q33. 「その他」を選択した方は、その他の内容を入力してください。

戻る

次へ

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

生き方のタイプの中で、それぞれ最も近いと思われるタイプはどれですか。
Q34. か。

(1) あなたの理想とする人生はどのタイプですか。

- 結婚せず、仕事を続ける
- 結婚するが子どもはもたず、仕事を続ける
- 結婚し、子どもをもち、仕事も続ける
- 結婚し子どもをもち、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事をもつ
- 結婚し子どもをもち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事をもたない
- 仕事はもたず、結婚し専業主婦（主夫）になる
- その他

Q35. (2) 実際になりそうなあなたの人生のタイプはどれですか。

- 結婚せず、仕事を続ける
- 結婚するが子どもはもたず、仕事を続ける
- 結婚し、子どもをもち、仕事も続ける
- 結婚し子どもをもち、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事をもつ
- 結婚し子どもをもち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事をもたない
- 仕事はもたず、結婚し専業主婦（主夫）になる
- その他

Q36. (3) 夫または妻、パートナーとなる人に望む人生はどれですか。

- 結婚せず、仕事を続ける
- 結婚するが子どもはもたず、仕事を続ける
- 結婚し、子どもをもち、仕事も続ける
- 結婚し子どもをもち、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事をもつ
- 結婚し子どもをもち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事をもたない
- 仕事はもたず、結婚し専業主婦（主夫）になる
- その他

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

Q37. 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚（事実婚等を含む）に対するお考えはどちらですか。

- いずれ結婚するつもり
 - 一生結婚するつもりはない
-

[戻る](#)

[次へ](#)

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

『いずれ結婚するつもりの方』に伺います。

Q38. 結婚したいと思う時期について、最もあてはまるものを選択してください。

- 今後1年以内に結婚したいと思う
- 今後3年以内に結婚したいと思う
- 今後5年以内に結婚したいと思う
- 今後8年以内に結婚したいと思う
- 今後10年以内に結婚したいと思う
- 結婚時期は決めておらず、いずれは結婚したいと思う
- 理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない

Q39. コロナ禍（2019年12月以降）となりコロナ禍以前と比べて、結婚に対する意識の変化として最もあてはまるもの1つを回答してください。

- 結婚したい気持ちが強くなった
- 結婚したい気持ちがやや強くなった
- 変わらない
- 結婚したい気持ちがやや弱くなった
- 結婚したい気持ちが弱くなった

Q40. 前問の回答の理由を記入してください（任意）。

Q41. あなたは何歳くらいのときに何歳くらいの相手と結婚したいと思いますか。

※まったく希望がないという場合は、「0」を入力してください。

	年齢
自分	<input type="text"/> 歳くらい
相手	<input type="text"/> 歳くらい

あなたは結婚相手を決めるとき、下の①～⑧の項目についてどの程度重視

Q42. しますか。（それぞれ1つ選択）

	重視する	考慮する	あまり関係ない
①相手の学歴	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
②相手の職業	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
③相手の収入などの経済力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
④相手の人から	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑤相手の容姿	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑥共通の趣味の有無	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑦自分の仕事に対する理解と協力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑧家事・育児に対する能力や姿勢	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q43. 現在交際している人と（あるいは理想的な相手が見つかった場合）現時点で結婚するとしたら、なにか障害になることがありますか。

- 障害になることがあると思う
- 障害になることはないと思う

戻る

次へ

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

障害になることがあると思うと答えた方に伺います。

Q44. 障害になると思うことを上位3つまで選択してください。

※左のリストから右欄にドラッグ&ドロップし、順に並べてください。

結婚生活のための住居
結婚資金（挙式や新生活の準備のための費用）
結婚後の資金面（経済力）に不安があるため（収入が低い、雇用が不安定など）
親の承諾
親との同居や扶養
学校や学業上の問題
職業や仕事上の問題
年齢上的こと
健康上的こと
その他



Q45. 「その他」を選択した方は、その他の内容を入力してください。

戻る

次へ

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。
上位3つまで選択してください。

- Q46. ※左のリストから右欄にドラッグ&ドロップし、順に並べてください。
※すでに結婚が決まっている方は、「すでに結婚が決まっている」のみ選択してください。

結婚するにはまだ若すぎるから
結婚する必要性をまだ感じないから
今は、仕事(または学業)に打ち込みたいから
今は、趣味や娯楽を楽しみたいから
独身の自由さや気楽さを失いたくないから
適当な相手にまだめぐり会わないから
異性とうまく付き合えないから
結婚資金が足りないから
結婚後の資金面(経済力)に不安があるため(収入が低い、雇用が不安定など)
結婚生活のための住居のめどがたたないから
親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から
その他
すでに結婚が決まっている



- Q47. 「その他」を選択した方は、その他の内容を入力してください。

戻る

次へ

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

Q48. あなたの理想としては全部で何人の子どもが欲しいと思いますか（思いましたか）。

子どもはいらない

1人

2人

3人

4人

5人

6人

7人

8人以上

戻る

次へ

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

「子どもはほらない」と答えた方にお聞きします。

Q49. 子どもはほらないと思う理由について、お答えください。（あてはまる理由すべて選択）

- 結婚するつもりがないから
- 夫婦だけで暮らしたいから
- 仕事を優先させたいから
- 趣味・娯楽を優先させたいから
- 友人との関係を優先させたいから
- 健康面の理由から
- 妊娠、出産が大変だと思うだから
- 子育てにはお金がかかるから
- 子育てをする自信がないから
- 子どもが好きではないから
- 社会全体が子どもや子育てにやさしくないから
- その他

戻る

次へ

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

Q49. 最初の（次の）お子さんをもちたいと思う年齢は何歳ですか。
※希望がない場合は「0」を入力。

あなたが 歳くらいのとき

Q50. 実際にもつつもりのお子さんは何人ですか。

0人

1人

2人

3人

4人

5人

6人

7人

8人以上

戻る

次へ

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

「実際にもつつもりの子どもの人数」が、「欲しいと思う子どもの人数」より少ない方に伺います。

実際にもつつもりの子どもの人数が、欲しいと思う子どもの人数より少ない
Q51. いのはなぜですか。下の理由のうちから、あてはまるものをすべて選択してください。

- 仕事や趣味を優先したいから
- 仕事と子育ての両立が難しいから（仕事が忙しく子育ての時間がとれない）
- 職場の理解がないから（仕事を休めない、やめないといけない）
- 結婚が遅い（できない）から
- 配偶者やパートナーとの関係を大切にしたいから
- 配偶者やパートナーが子どもを欲しがらないと思うから
- 妊娠・出産が精神的・肉体的に大変だから
- 年齢的に妊娠・出産が難しいから
- 健康上の理由で妊娠・出産が難しいから
- 不妊治療にお金がかかるから
- ほしいけれどもできないから
- 出産費用等の経済的負担が大きいから
- 子どもの医療費等の経済的負担が大きいから
- 育児休業期間中の所得保障が不十分だから
- 子どもの数に応じた手当等による経済的援助が不十分だから
- 就学前において幼稚園や保育所の保育料などの様々な費用がかかるから
- 義務教育期間において教育に関する様々な費用がかかるから
- 高等学校教育期間において教育に関する様々な費用がかかるから
- 大学教育期間において教育に関する様々な費用がかかるから
- 子どもの預け先がないから（保育所、一時的に預ける施設やサービスなど）
- 育児が精神的・肉体的に大変だから
- 育児に自信がないから
- 子どもが苦手だから
- 子育てに対する男性の参画が得られず、女性の負担が大きいから
- 少ない子どもに手をかけて育てたいから
- 育児に家族の協力が得られないから
- 育児の社会的支援体制が不十分だから
- 公園や道路の安全対策などが不安だから
- 住宅がせまいから
- その他

Q52. 実際にもつつもりの子どもの人数が、欲しいと思う子どもの人数より少ない理由のうち、最も重要な理由を選択してください。

- 仕事や趣味を優先したいから
- 仕事と子育ての両立が難しいから（仕事が忙しく子育ての時間がとれない）
- 職場の理解がないから（仕事を休めない、やめないといけない）
- 結婚が遅い（できない）から
- 配偶者やパートナーとの関係を大切にしたいから
- 配偶者やパートナーが子どもを欲しがらないと思うから
- 妊娠・出産が精神的・肉体的に大変だから
- 年齢的に妊娠・出産が難しいから
- 健康上の理由で妊娠・出産が難しいから
- 不妊治療にお金がかかるから
- ほしいけれどもできないから
- 出産費用等の経済的負担が大きいため
- 子どもの医療費等の経済的負担が大きいため
- 育児休業期間中の所得保障が不十分だから
- 子どもの数に応じた手当等による経済的援助が不十分だから
- 就学前において幼稚園や保育所の保育料などの様々な費用がかかるから
- 義務教育期間において教育に関する様々な費用がかかるから
- 高等学校教育期間において教育に関する様々な費用がかかるから
- 大学教育期間において教育に関する様々な費用がかかるから
- 子どもの預け先がないから（保育所、一時的に預ける施設やサービスなど）
- 育児が精神的・肉体的に大変だから
- 育児に自信がないから
- 子どもが苦手だから
- 子育てに対する男性の参画が得られず、女性の負担が大きいため
- 少ない子どもに手をかけて育てたいから
- 育児に家族の協力が得られないから
- 育児の社会的支援体制が不十分だから
- 公園や道路の安全対策などが不安だから
- 住宅がせまいから
- その他

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

結婚、男女関係、家庭、子どもをもつことについてはいろいろな考え方がありますが、下に例として①～⑮の考え方を示しました。それぞれについて、あなた自身はどのようにお考えですか。（それぞれ1つ選択）

Q53.

※本問では、賛成・反対の立場が取りやすいよう断定的な表現を用いています。また、必ずしも一般的ではない考え方も含まれています。

	まったく賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	まったく反対
①生涯を独身で過ごすというのは、望ましい生き方ではない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
②男女が一緒に暮らすなら結婚すべきである	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
③結婚前の男女でも愛情があるなら性交渉をもってかまわない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
④どんな社会においても、女らしさや男らしさはある程度必要だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑤結婚しても、人生には結婚相手や家族とは別の自分だけの目標をもつべきである	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑥結婚したら、家庭のためには自分の個性や生き方を半分犠牲にするのは当然だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑦結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑧結婚したら、子どもはもつべきだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑨少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事をもたず家にいるのが望ましい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑩いったん結婚したら、性格の不一致くらいで別れるべきではない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑪結婚していなくても、子どもをもってかまわない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑫結婚した男性にとって、家族と過ごす時間は仕事よりも重要だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑬結婚した女性にとって、家族と過ごす時間は仕事よりも重要だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑭女性が最初の子どもの産むなら20代のうちがよい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑮男性どうし、女性どうしの結婚があってもかまわない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q54. 晩婚化、未婚化が進んでいると言われる中で、それらの主な原因はなんだと思いますか。（3つまで選択）

- 結婚に向けた行動をする時間的余裕がない
- 適当な相手にめぐりあう機会がない
- 相手との人間関係を築くことが面倒または難しい
- 結婚すること、結婚しないことに世間のこだわりが少なくなった

- 若者の親離れや親の子離れができていない
- 家庭をもつ経済力がない
- 独身の方が自由で気楽
- 家事への負担感
- 子育ての経済的負担感
- 子育ての精神的、肉体的負担感
- その他

Q55. 今後、晩婚化や未婚化に歯止めをかけるための特に必要な対策は何だと思いますか。（3つまで選択）

- 若者の就業への支援
- 出会いの機会の提供等の結婚支援
- 結婚の意義やメリットについての啓発
- 社会全体で若者の結婚や子育てを応援する意識づくり
- 乳幼児期から学童期の子育てにかかる経済的負担の軽減
- 乳幼児期から学童期の子育てにかかる精神的、肉体的負担の軽減
- 大学教育費用の負担軽減
- 仕事と家庭生活の両立支援
- 結婚新生活にかかる費用の負担軽減
- 必要ない
- その他

Q56. 新潟市で行っている次の①～③（③は民間自主運営）の取り組みについて知っているかどうかお答えください。（それぞれ1つ選択）

	知らない	知っている	知っていて利用したいと思う※利用したことがあるを含む
①新潟市結婚応援 結パスポート 地域のお店や企業等で様々なサービスを受けることができる結婚応援「結パスポート」を結婚予定や新婚カップルに配布します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
②新潟市結婚新生活支援補助金 新たに婚姻する世帯の住宅取得や住宅賃貸、引越しにかかる費用を補助することにより、結婚に伴う経済的負担を軽減します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
③新潟市婚活支援ネットワーク 新潟市婚活支援ネットワークの参加団体が、新潟市の認定を受けて、出会い・婚活イベント、各種セミナーを行っています。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q57. 次の①～③のそれぞれについて知っているかどうかお答えください。（それぞれ1つ選択）

	知っ	知ら
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

	て い る	な い
①「不妊症」について知っていますか ※不妊症とは、妊娠を希望する男女が一定期間（2年間が一般的）性交渉をもっているにもかかわらず妊娠しない場合と定義されています。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
②「不育症」について知っていますか ※不育症とは、妊娠しても2回以上の流産・死産もしくは生後1週間以内に子どもがなくなってしまう場合と定義されています。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
③「卵子の老化」について知っていますか ※卵子の老化とは、卵子は年齢を重ねるほど減り続け、また卵子自体も年を取り妊娠しにくくなる、あるいは受精しても流産してしまうなど妊娠が成立しにくくなります。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q58. 本調査について、あるいは結婚、出産、子育て、少子化、人口問題などについて、ご意見などがございましたら、下の欄にご自由にご記入ください。
(特段のご意見等なければ空欄のまま構いません。)

抽選で合計100名様に「QUOカード（500円）」をプレゼント

ご回答いただいた方の中から、抽選で合計100名様に「QUOカード（500円）」をプレゼントいたします。

応募する場合は、住所・氏名を入力してください。なお、希望しない場合は空欄にしてください。

※連絡先は、プレゼントの抽選以外の目的で利用されることは一切ありません。また、アンケートの回答内容について個人を特定することはありません。

当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

Q59. <住所>

- 郵便番号検索

Q60. <氏名>

姓 名

Q61. 住所・氏名に間違いがないか再度ご確認ください。
(番地の入力漏れ等)

- 間違いありません。プレゼントに応募します。
- プレゼントには応募しません。

[戻る](#)

[回答](#)

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

『既婚の方』に伺います。

- Q5. あなた方ご夫婦の（１）出生年月、（２）結婚生活を始めた年月および（３）初再婚の別について、お答えください。

	年（西暦）	月
（１）出生年月【夫】	<input type="text"/>	<input type="text"/>
（１）出生年月【妻】	<input type="text"/>	<input type="text"/>
（２）結婚生活を始めた年月	<input type="text"/>	<input type="text"/>

	初婚	離婚後再婚	死別後再婚
（３）初再婚の別【夫】	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
（３）初再婚の別【妻】	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

- Q6. あなた方ご夫婦のそれぞれ（１）卒業・在学の別と、（２）最後に卒業された（あるいは在学中の）学校についてお答えください。

	すでに卒業	現在、在学中（休学等を含む）
（１）卒業・在学の別【夫】	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
（１）卒業・在学の別【妻】	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

- Q7. （２）最後に卒業した（または在学中の）学校【夫】

- 中学校
- 高校
- 専門・専修学校（高卒後）
- 短大・高専
- 大学
- 大学院
- その他

- Q8. （２）最後に卒業した（または在学中の）学校【妻】

- 中学校
- 高校

専門・専修学校（高卒後）

短大・高専

大学

大学院

その他

戻る

次へ

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

あなた方ご夫婦のお仕事について伺います。
各時期におけるおつとめの状況、職種、おつとめ先の従業員数について
お答えください。

<最後に学校を卒業した直後【夫】>のおつとめの状況をお答えください。

Q9. ※在学中の方は、前の学校を卒業した直後の状況についてご記入ください。

- 正規の社員・職員
- パート・アルバイト
- 派遣・嘱託・契約社員
- 自営業主・家族従業員
- 無職・家事
- 学生

Q10. 【おつとめの方のみ回答】

<最後に学校を卒業した直後【夫】>の職種をお答えください。

- 主として農林漁業
- 農林漁業以外の自営業
- 専門職
- 管理職
- 事務職
- 販売・サービス業
- 工場などの現場労働

【おつとめの方のみ回答】

Q11. <最後に学校を卒業した直後【夫】>のおつとめ先の従業員数（本社・支社を含む）をお答えください。

- 1～9人
- 10～29人
- 30～99人
- 100～299人
- 300～999人
- 1000人以上
- 官公庁

<現在の結婚を決めたとき【夫】>のおつとめの状況をお答えください。
Q12. ※在学中の方は、前の学校を卒業した直後の状況についてご記入ください。

- 正規の社員・職員
- パート・アルバイト
- 派遣・嘱託・契約社員
- 自営業主・家族従業員
- 無職・家事
- 学生

【おつとめの方のみ回答】
Q13. <現在の結婚を決めたとき【夫】>の職種をお答えください。

- 主として農林漁業
- 農林漁業以外の自営業
- 専門職
- 管理職
- 事務職
- 販売・サービス業
- 工場などの現場労働

【おつとめの方のみ回答】
Q14. <現在の結婚を決めたとき【夫】>のおつとめ先の従業員数（本社・支社を含む）をお答えください。

- 1～9人
- 10～29人
- 30～99人
- 100～299人
- 300～999人
- 1000人以上
- 官公庁

<現在【夫】>のおつとめの状況をお答えください。
Q15. ※在学中の方は、前の学校を卒業した直後の状況についてご記入ください。

- 正規の社員・職員
 - パート・アルバイト
 - 派遣・嘱託・契約社員
 - 自営業主・家族従業員
 - 無職・家事
 - 学生
-

Q16. 【おつとめの方のみ回答】
＜現在【夫】＞の職種をお答えください。

- 主として農林漁業
 - 農林漁業以外の自営業
 - 専門職
 - 管理職
 - 事務職
 - 販売・サービス業
 - 工場などの現場労働
-

【おつとめの方のみ回答】
Q17. ＜現在【夫】＞のおつとめ先の従業員数（本社・支社を含む）をお答えください。

- 1～9人
 - 10～29人
 - 30～99人
 - 100～299人
 - 300～999人
 - 1000人以上
 - 官公庁
-

戻る

次へ

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

現在のお仕事について、お答えください。

Q18. 勤務する日1日の平均的な労働時間【夫】

	時間	分
1日あたり平均	<input type="text"/>	<input type="text"/>

Q19. 1週間の平均的な労働日数【夫】

週あたり平均 日

Q20. 現在の仕事の勤続または継続年数【夫】
※1年未満の場合は、1年としてください

およそ 年

Q21. 先月の収入（月収）【夫】

約 万円

昨年（2021年）の収入（年収）【夫】

※給与収入の場合は、所得税や保険料が引かれる前の額を記入してください。

Q22. い。

※事業収入の場合は、売上から材料費など必要経費を引いた額を記入してください。

- 1～99万円
- 100万円台
- 200万円台
- 300万円台
- 400万円台
- 500万円台
- 600万円台
- 700万円台
- 800万円台
- 900万円台
- 1000万円以上
- なし

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

＜最後に学校を卒業した直後【妻】＞のおつとめの状況をお答えください。
Q23. ※在学中の方は、前の学校を卒業した直後の状況についてご記入ください。

- 正規の社員・職員
- パート・アルバイト
- 派遣・嘱託・契約社員
- 自営業主・家族従業員
- 無職・家事
- 学生

【おつとめの方のみ回答】
Q24. ＜最後に学校を卒業した直後【妻】＞の職種をお答えください。

- 主として農林漁業
- 農林漁業以外の自営業
- 専門職
- 管理職
- 事務職
- 販売・サービス業
- 工場などの現場労働

【おつとめの方のみ回答】
Q25. ＜最後に学校を卒業した直後【妻】＞のおつとめ先の従業員数（本社・支社を含む）をお答えください。

- 1～9人
- 10～29人
- 30～99人
- 100～299人
- 300～999人
- 1000人以上
- 官公庁

＜現在の結婚を決めたとき【妻】＞のおつとめの状況をお答えください。
Q26. ※在学中の方は、前の学校を卒業した直後の状況についてご記入ください。

- 正規の社員・職員

- パート・アルバイト
- 派遣・嘱託・契約社員
- 自営業主・家族従業員
- 無職・家事
- 学生

Q27. **【おつとめの方のみ回答】**
＜現在の結婚を決めたとき【妻】＞の職種をお答えください。

- 主として農林漁業
- 農林漁業以外の自営業
- 専門職
- 管理職
- 事務職
- 販売・サービス業
- 工場などの現場労働

Q28. **【おつとめの方のみ回答】**
＜現在の結婚を決めたとき【妻】＞のおつとめ先の従業員数（本社・支社を含む）をお答えください。

- 1～9人
- 10～29人
- 30～99人
- 100～299人
- 300～999人
- 1000人以上
- 官公庁

Q29. **＜結婚の直後【妻】＞のおつとめの状況をお答えください。**
※在学中の方は、前の学校を卒業した直後の状況についてご記入ください。

- 正規の社員・職員
- パート・アルバイト
- 派遣・嘱託・契約社員
- 自営業主・家族従業員
- 無職・家事
- 学生

Q30. **【おつとめの方のみ回答】**
＜結婚の直後【妻】＞の職種をお答えください。

- 主として農林漁業
- 農林漁業以外の自営業

- 専門職
- 管理職
- 事務職
- 販売・サービス業
- 工場などの現場労働

【おつとめの方のみ回答】

Q31. <結婚の直後【妻】>のおつとめ先の従業員数（本社・支社を含む）をお答えください。

- 1～9人
- 10～29人
- 30～99人
- 100～299人
- 300～999人
- 1000人以上
- 官公庁

<現在【妻】>のおつとめの状況をお答えください。

Q32. ※在学中の方は、前の学校を卒業した直後の状況についてご記入ください。

- 正規の社員・職員
- パート・アルバイト
- 派遣・嘱託・契約社員
- 自営業主・家族従業員
- 無職・家事
- 学生

【おつとめの方のみ回答】

Q33. <現在【妻】>の職種をお答えください。

- 主として農林漁業
- 農林漁業以外の自営業
- 専門職
- 管理職
- 事務職
- 販売・サービス業
- 工場などの現場労働

【おつとめの方のみ回答】

Q34. <現在【妻】>のおつとめ先の従業員数（本社・支社を含む）をお答えください。

- 1～9人
-

10~29人

30~99人

100~299人

300~999人

1000人以上

官公庁

[戻る](#)

[次へ](#)

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

現在のお仕事について、お答えください。

Q35. 勤務する日1日の平均的な労働時間【妻】

	時間	分
1日あたり平均	<input type="text"/>	<input type="text"/>

Q36. 1週間の平均的な労働日数【妻】

週あたり平均 日

Q37. 現在の仕事の勤続または継続年数【妻】
※1年未満の場合は、1年としてください

およそ 年

Q38. 先月の収入（月収）【妻】

約 万円

昨年（2021年）の収入（年収）【妻】

※給与収入の場合は、所得税や保険料が引かれる前の額を記入してください

Q39. い。

※事業収入の場合は、売上から材料費など必要経費を引いた額を記入してください。

- 1～99万円
- 100万円台
- 200万円台
- 300万円台
- 400万円台
- 500万円台
- 600万円台
- 700万円台
- 800万円台
- 900万円台
- 1000万円以上
- なし

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

あなた方ご夫婦とご両親との同居／別居について、お答えください。

Q40. a.現在の結婚を決めたとき【夫】

	同居	同じ市区町村内で別居	別の市区町村で別居	すでに亡くなっていた(いる)
夫の父親	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
夫の母親	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q41. a.現在の結婚を決めたとき【妻】

	同居	同じ市区町村内で別居	別の市区町村で別居	すでに亡くなっていた(いる)
妻の父親	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
妻の母親	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q42. b.結婚直後

	同居	同じ市区町村内で別居	別の市区町村で別居	すでに亡くなっていた(いる)
夫の父親	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
夫の母親	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
妻の父親	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
妻の母親	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q43. c.現在

	同居	同じ市区町村内で別居	別の市区町村で別居	すでに亡くなっていた(いる)
夫の父親	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
夫の母親	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
妻の父親	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
妻の母親	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

あなた方ご夫婦が、（１）知り合ったのはいつですか。（２）婚約あるいは結婚の合意をなされたのはいつですか。また、（３）結婚する前に同棲をしていた期間がありましたか。

	年（西暦）	月
（１）知り合った年月	<input type="text"/>	<input type="text"/>
（２）婚約または結婚の合意の年月	<input type="text"/>	<input type="text"/>

Q45. （３）同棲期間の有無
※同棲期間とは、結婚生活を始める前に生活を共にした期間のことです。

- ない
- あった 期間（例：○年○か月）⇒

Q46. あなた方ご夫婦はどのようなきっかけでお知り合いになりましたか。（１つ選択）

- 学校で
- 職場や仕事の関係で
- アルバイトで
- 幼なじみ、隣人関係
- 学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で
- 友人やきょうだいを通じて
- 見合いで（親戚や上役などの紹介も含む）
- 結婚相談所で
- インターネットで（マッチングアプリを含む）
- 婚活イベントで
- 地域のイベントで
- 街なかや旅先で
- その他

Q47. あなた方ご夫婦が、最終的に結婚を決めたときの直接のきっかけは何ですか。（２つまで選択）

- 年齢的に適当な時期だと感じた
- できるだけ早く一緒に暮らしたかった
- できるだけ早く子どもがほしかった
- 子どもができた

- 自分または相手の仕事の事情
 - 結婚資金（挙式や新生活の準備のための費用）が用意できた
 - 収入や住居など結婚生活のための経済的な基盤ができた
 - 友人や同世代の人たちの結婚
 - 親や周囲のすすめ
 - その他
-

[戻る](#)

[次へ](#)

47%

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

Q48. あなた方ご夫婦のお子さんはいますか。

- いる
 - いない
-

戻る

次へ

52%

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

Q49. あなた方ご夫婦のお子さんの数は現在何人ですか。

全部で 人

戻る

次へ

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

あなたご夫婦がお子さんをおもちになったときの妻の仕事についておたずねします。下のa～fの各時期におけるおつとめの状況、職種、おつとめ先の従業員数について、お答えください。

- ※お子さんが1人の場合は、第2子以降の回答は不要です。
- ※お子さんが4人以上いる方は、3人までの記入で結構です。
- ※「b」「d」「f」について、現在1歳未満の場合は、現在の状況についてお答えください。
- ※産休・育児休業中の場合は就業とみなします。休業前のおつとめの状況を選択してください。

Q50. <a 第1子の妊娠がわかったとき>の妻のおつとめの状況をお答えください。

- 正規の社員・職員
- パート・アルバイト
- 派遣・嘱託・契約社員
- 自営業主・家族従業員
- 無職・家事
- 学生

Q51. 【おつとめの方のみ回答】
<a 第1子の妊娠がわかったとき>の職種をお答えください。

- 主として農林漁業
- 農林漁業以外の自営業
- 専門職
- 管理職
- 事務職
- 販売・サービス業
- 工場などの現場労働

Q52. 【おつとめの方のみ回答】
<a 第1子の妊娠がわかったとき>の妻のおつとめ先の従業員数（本社・支社を含む）をお答えください。

- 1～9人
- 10～29人
- 30～99人
- 100～299人

- 300～999人
- 1000人以上
- 官公庁

Q53. <b 第1子が1歳になるとき>の妻のおつとめの状況をお答えください。

- 正規の社員・職員
- パート・アルバイト
- 派遣・嘱託・契約社員
- 自営業主・家族従業員
- 無職・家事
- 学生

Q54. 【おつとめの方のみ回答】
<b 第1子が1歳になるとき>の職種をお答えください。

- 主として農林漁業
- 農林漁業以外の自営業
- 専門職
- 管理職
- 事務職
- 販売・サービス業
- 工場などの現場労働

【おつとめの方のみ回答】
Q55. <b 第1子が1歳になるとき>の妻のおつとめ先の従業員数（本社・支社を含む）をお答えください。

- 1～9人
- 10～29人
- 30～99人
- 100～299人
- 300～999人
- 1000人以上
- 官公庁

お子さんが2人以上いる方のみお答えください。
Q56. <c 第2子の妊娠がわかったとき>の妻のおつとめの状況をお答えください。

- 正規の社員・職員
- パート・アルバイト
- 派遣・嘱託・契約社員
- 自営業主・家族従業員
- 無職・家事

- 学生

【おつとめの方のみ回答】
Q57. <c 第2子の妊娠がわかったとき>の職種をお答えください。

- 主として農林漁業
 農林漁業以外の自営業
 専門職
 管理職
 事務職
 販売・サービス業
 工場などの現場労働

【おつとめの方のみ回答】
Q58. <c 第2子の妊娠がわかったとき>の妻のおつとめ先の従業員数（本社・支社を含む）をお答えください。

- 1～9人
 10～29人
 30～99人
 100～299人
 300～999人
 1000人以上
 官公庁

Q59. <d 第2子が1歳になるとき>の妻のおつとめの状況をお答えください。

- 正規の社員・職員
 パート・アルバイト
 派遣・嘱託・契約社員
 自営業主・家族従業員
 無職・家事
 学生

【おつとめの方のみ回答】
Q60. <d 第2子が1歳になるとき>の職種をお答えください。

- 主として農林漁業
 農林漁業以外の自営業
 専門職
 管理職
 事務職
 販売・サービス業
 工場などの現場労働

【おつとめの方のみ回答】

Q61. <d 第2子が1歳になるとき>の妻のおつとめ先の従業員数（本社・支社を含む）をお答えください。

- 1～9人
- 10～29人
- 30～99人
- 100～299人
- 300～999人
- 1000人以上
- 官公庁

Q62. <e 第3子の妊娠がわかったとき>の妻のおつとめの状況をお答えください。

- 正規の社員・職員
- パート・アルバイト
- 派遣・嘱託・契約社員
- 自営業主・家族従業員
- 無職・家事
- 学生
- 子どもは2人しかいない

【おつとめの方のみ回答】

Q63. <e 第3子の妊娠がわかったとき>の職種をお答えください。

- 主として農林漁業
- 農林漁業以外の自営業
- 専門職
- 管理職
- 事務職
- 販売・サービス業
- 工場などの現場労働

【おつとめの方のみ回答】

Q64. <e 第3子の妊娠がわかったとき>の妻のおつとめ先の従業員数（本社・支社を含む）をお答えください。

- 1～9人
- 10～29人
- 30～99人
- 100～299人
- 300～999人
- 1000人以上
- 官公庁

Q65. <f 第3子が1歳になるとき>の妻のおつとめの状況をお答えください。

- 正規の社員・職員
- パート・アルバイト
- 派遣・嘱託・契約社員
- 自営業主・家族従業員
- 無職・家事
- 学生

Q66. 【おつとめの方のみ回答】
<f 第3子が1歳になるとき>の職種をお答えください。

- 主として農林漁業
- 農林漁業以外の自営業
- 専門職
- 管理職
- 事務職
- 販売・サービス業
- 工場などの現場労働

Q67. 【おつとめの方のみ回答】
<f 第3子が1歳になるとき>の妻のおつとめ先の従業員数（本社・支社を含む）をお答えください。

- 1～9人
- 10～29人
- 30～99人
- 100～299人
- 300～999人
- 1000人以上
- 官公庁

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

あなた方ご夫婦のお子さんが3歳になるまでの間、ご夫妻のご両親とは同居していましたか。また子育ての手助けはありましたか。第1子から第3子までについて、お答えください。

※3歳になるまでの間で、もっともあてはまる状況について、お答えください。

※お子さんが1人の場合は、第2子以降の回答は不要です。

※お子さんが4人以上いる方は、3人までの記入で結構です。

＜第1子について＞
Q68. 夫の父親とは同居していましたか。

- 同居
- 同じ市区町村内で別居
- 別の市区町村で別居
- すでに亡くなっていた
- わからない

【同居・別居していると回答した方のみ】

Q69. ＜第1子について＞
夫の父親から子育ての手助けはありましたか。

- ほとんどなかった
- ときどきあった
- ひんばんにあった
- 日常的にあった

＜第2子について＞
Q70. 夫の父親とは同居していましたか。

- 同居
- 同じ市区町村内で別居
- 別の市区町村で別居
- すでに亡くなっていた
- わからない

【同居・別居していると回答した方のみ】

Q71. ＜第2子について＞
夫の父親から子育ての手助けはありましたか。

- ほとんどなかった
- ときどきあった
- ひんばんにあった
- 日常的にあった

Q72. <第3子について>
夫の父親とは同居していましたか。

- 同居
- 同じ市区町村内で別居
- 別の市区町村で別居
- すでに亡くなっていた
- わからない

【同居・別居していると回答した方のみ】

Q73. <第3子について>
夫の父親から子育ての手助けはありましたか。

- ほとんどなかった
- ときどきあった
- ひんばんにあった
- 日常的にあった

Q74. <第1子について>
妻の父親とは同居していましたか。

- 同居
- 同じ市区町村内で別居
- 別の市区町村で別居
- すでに亡くなっていた
- わからない

【同居・別居していると回答した方のみ】

Q75. <第1子について>
妻の父親から子育ての手助けはありましたか。

- ほとんどなかった
- ときどきあった
- ひんばんにあった
- 日常的にあった

Q76. <第2子について>
妻の父親とは同居していましたか。

- 同居
-

同じ市区町村内で別居

- 別の市区町村で別居
- すでに亡くなっていた
- わからない

【同居・別居していると回答した方のみ】

Q77. <第2子について>

妻の父親から子育ての手助けはありましたか。

- ほとんどなかった
- ときどきあった
- ひんぱんにあった
- 日常的にあった

Q78. <第3子について>

妻の父親とは同居していましたか。

- 同居
- 同じ市区町村内で別居
- 別の市区町村で別居
- すでに亡くなっていた
- わからない

【同居・別居していると回答した方のみ】

Q79. <第3子について>

妻の父親から子育ての手助けはありましたか。

- ほとんどなかった
- ときどきあった
- ひんぱんにあった
- 日常的にあった

Q80. <第1子について>

夫の母親とは同居していましたか。

- 同居
- 同じ市区町村内で別居
- 別の市区町村で別居
- すでに亡くなっていた
- わからない

【同居・別居していると回答した方のみ】

Q81. <第1子について>

夫の母親から子育ての手助けはありましたか。

- ほとんどなかった

- ときどきあった
 - ひんぱんにあった
 - 日常的にあった
-

Q82. <第2子について>
夫の母親とは同居していましたか。

- 同居
 - 同じ市区町村内で別居
 - 別の市区町村で別居
 - すでに亡くなっていた
 - わからない
-

【同居・別居していると回答した方のみ】

Q83. <第2子について>
夫の母親から子育ての手助けはありましたか。

- ほとんどなかった
 - ときどきあった
 - ひんぱんにあった
 - 日常的にあった
-

Q84. <第3子について>
夫の母親とは同居していましたか。

- 同居
 - 同じ市区町村内で別居
 - 別の市区町村で別居
 - すでに亡くなっていた
 - わからない
-

【同居・別居していると回答した方のみ】

Q85. <第3子について>
夫の母親から子育ての手助けはありましたか。

- ほとんどなかった
 - ときどきあった
 - ひんぱんにあった
 - 日常的にあった
-

Q86. <第1子について>
妻の母親とは同居していましたか。

- 同居
- 同じ市区町村内で別居

- 別の市区町村で別居
- すでに亡くなっていた
- わからない

【同居・別居していると回答した方のみ】

Q87. <第1子について>

妻の母親から子育ての手助けはありましたか。

- ほとんどなかった
- ときどきあった
- ひんぱんにあった
- 日常的にあった

Q88. <第2子について>

妻の母親とは同居していましたか。

- 同居
- 同じ市区町村内で別居
- 別の市区町村で別居
- すでに亡くなっていた
- わからない

【同居・別居していると回答した方のみ】

Q89. <第2子について>

妻の母親から子育ての手助けはありましたか。

- ほとんどなかった
- ときどきあった
- ひんぱんにあった
- 日常的にあった

Q90. <第3子について>

妻の母親とは同居していましたか。

- 同居
- 同じ市区町村内で別居
- 別の市区町村で別居
- すでに亡くなっていた
- わからない

【同居・別居していると回答した方のみ】

Q91. <第3子について>

妻の母親から子育ての手助けはありましたか。

- ほとんどなかった
- ときどきあった

- ひんぱんにあった
- 日常的にあった

あなた方ご夫婦のお子さんが3歳になるまでの間、あなたのご家庭では、男性（夫）の家事・育児の頻度はどのくらいでしたか。第1子から第3子までについて、お答えください。

Q92. ※3歳になるまでの間で、もっともあてはまる状況について、お答えください。

- ※お子さんが1人の場合は、第2子以降の回答は不要です。
- ※お子さんが4人以上いる方は、3人までの記入で結構です。

<第1子について>

	ほとんどなかった	ときどきあった	ひんぱんにあった	日常的にあった
家事頻度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
育児頻度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q93. <第2子について>

	ほとんどなかった	ときどきあった	ひんぱんにあった	日常的にあった
家事頻度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
育児頻度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q94. <第3子について>

	ほとんどなかった	ときどきあった	ひんぱんにあった	日常的にあった
家事頻度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
育児頻度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

あなたたの家庭でこれまで、子どもが生まれた際に男性（夫）は、育休（育児休暇）を取得しましたか。
第1子から第3子までについて、お答えください。

- Q95. ※お子さんが1人の場合は、第2子以降の回答は不要です。
※お子さんが4人以上いる方は、3人までの記入で結構です。

<第1子について>

- 取得していない
- 1週間未満の育休を取得
- 1週間以上～2週間未満の育休を取得
- 2週間以上～1ヶ月未満の育休を取得
- 1ヶ月以上～3ヶ月未満の育休を取得
- 3ヶ月以上の育休を取得

- 「取得していない」と回答した方に伺います。
Q96. 男性（夫）が育休を取得しなかった理由についてお答えください。

<第1子について>

- 職場が男性の育休取得を認めない雰囲気であるため
- 職場に迷惑をかけたくないため
- 周囲からの評価に影響が出るため（昇進等への影響）
- 収入が減少してしまうため
- 仕事にブランクができ、自分の能力が低下するため
- 妻が育児することができ、育休を取得する必要がないため
- 育児や家事をするのが好きではないため
- その他

Q97. <第2子について>

- 取得していない
- 1週間未満の育休を取得
- 1週間以上～2週間未満の育休を取得
- 2週間以上～1ヶ月未満の育休を取得
- 1ヶ月以上～3ヶ月未満の育休を取得
- 3ヶ月以上の育休を取得

Q98. <第2子について>

- 職場が男性の育休取得を認めない雰囲気であるため
 - 職場に迷惑をかけたくないため
 - 周囲からの評価に影響が出るため（昇進等への影響）
 - 収入が減少してしまうため
 - 仕事にブランクができ、自分の能力が低下するため
 - 妻が育児することができ、育休を取得する必要がないため
 - 育児や家事をするのが好きではないため
 - その他
-

Q99. <第3子について>

- 取得していない
 - 1週間未満の育休を取得
 - 1週間以上～2週間未満の育休を取得
 - 2週間以上～1ヶ月未満の育休を取得
 - 1ヶ月以上～3ヶ月未満の育休を取得
 - 3ヶ月以上の育休を取得
-

Q100. <第3子について>

- 職場が男性の育休取得を認めない雰囲気であるため
 - 職場に迷惑をかけたくないため
 - 周囲からの評価に影響が出るため（昇進等への影響）
 - 収入が減少してしまうため
 - 仕事にブランクができ、自分の能力が低下するため
 - 妻が育児することができ、育休を取得する必要がないため
 - 育児や家事をするのが好きではないため
 - その他
-

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

お子さんが3歳になるまでの間、あなた方ご夫婦が主に住んでいた場所はどこですか。第1子から第3子まで、それぞれのお子さんについてお答えください。

- Q101. ※お子さんが1人の場合は、第2子以降の回答は不要です。
※お子さんが4人以上いる方は、3人までの記入で結構です。

<第1子について>

- 新潟市内
 新潟県内の他市町村
 新潟県外

Q102.<第2子について>

- 新潟市内
 新潟県内の他市町村
 新潟県外

Q103.<第3子について>

- 新潟市内
 新潟県内の他市町村
 新潟県外

お子さんが3歳になるまでの間、以下の制度や施設を利用しましたか。第1子から第3子まで、それぞれのお子さんについてお答えください。(あてはまるものすべて選択)

- Q104. ※お子さんが1人の場合は、第2子以降の回答は不要です。
※お子さんが4人以上いる方は、3人までの記入で結構です。

<第1子について>

- 産前・産後休業制度
 育児休業制度（夫）
 育児休業制度（妻）
 育児時間制度・短時間勤務制度（夫）
 育児時間制度・短時間勤務制度（妻）
 認可保育所（小規模認可保育所含む）
 認定こども園
 事業所内保育施設・企業主導型保育事業

- その他の認可外保育施設（保育室・ベビーホテルなど）・認証保育所
 - 保育ママ（家庭的保育）※新潟市にはありません。
 - ベビーシッター（居宅訪問型保育含む）
 - ファミリー・サポート・センター
 - 一時預かり事業
 - 地域子育て支援センター・つどいの広場など地域の親子交流や相談の場
 - どれも利用しなかった
-

Q105.<第2子について>

- 産前・産後休業制度
 - 育児休業制度（夫）
 - 育児休業制度（妻）
 - 育児時間制度・短時間勤務制度（夫）
 - 育児時間制度・短時間勤務制度（妻）
 - 認可保育所（小規模認可保育所含む）
 - 認定こども園
 - 事業所内保育施設・企業主導型保育事業
 - その他の認可外保育施設（保育室・ベビーホテルなど）・認証保育所
 - 保育ママ（家庭的保育）※新潟市にはありません。
 - ベビーシッター（居宅訪問型保育含む）
 - ファミリー・サポート・センター
 - 一時預かり事業
 - 地域子育て支援センター・つどいの広場など地域の親子交流や相談の場
 - どれも利用しなかった
-

Q106.<第3子について>

- 産前・産後休業制度
- 育児休業制度（夫）
- 育児休業制度（妻）
- 育児時間制度・短時間勤務制度（夫）
- 育児時間制度・短時間勤務制度（妻）
- 認可保育所（小規模認可保育所含む）
- 認定こども園
- 事業所内保育施設・企業主導型保育事業
- その他の認可外保育施設（保育室・ベビーホテルなど）・認証保育所
- 保育ママ（家庭的保育）※新潟市にはありません。
- ベビーシッター（居宅訪問型保育含む）
- ファミリー・サポート・センター
- 一時預かり事業
- 地域子育て支援センター・つどいの広場など地域の親子交流や相談の場
- どれも利用しなかった

戻る

次へ

78%

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

Q107. あなたの理想としては全部で何人の子どもが欲しいと思いますか（思いましたか）。

- 子どもはいらない
- 1人
- 2人
- 3人
- 4人
- 5人
- 6人
- 7人
- 8人以上

戻る

次へ

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

「子どもはほらない」と答えた方にお聞きします。

Q108.子どもはほらないと思う理由について、お答えください。（あてはまる理由すべて選択）

- 結婚するつもりがないから
- 夫婦だけで暮らしたいから
- 仕事を優先させたいから
- 趣味・娯楽を優先させたいから
- 友人との関係を優先させたいから
- 健康面の理由から
- 妊娠、出産が大変だと思うだから
- 子育てにはお金がかかるから
- 子育てをする自信がないから
- 子どもが好きではないから
- 社会全体が子どもや子育てにやさしくないから
- その他

戻る

次へ

88%

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

Q108. 実際にもつつもりのお子さんは何人ですか。

- 0人
 - 1人
 - 2人
 - 3人
 - 4人
 - 5人
 - 6人
 - 7人
 - 8人以上
-

戻る

次へ

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

「実際にもつつもりの子どもの人数」が、「欲しいと思う子どもの人数」より少ない方に伺います。

実際にもつつもりの子どもの人数が、欲しいと思う子どもの人数より少ない
Q109. いのはなぜですか。下の理由のうちから、あてはまるものをすべて選択してください。

- 仕事や趣味を優先したいから
- 仕事と子育ての両立が難しいから（仕事が忙しく子育ての時間がとれない）
- 職場の理解がないから（仕事を休めない、やめないといけない）
- 結婚が遅い（できない）から
- 配偶者やパートナーとの関係を大切にしたいから
- 配偶者やパートナーが子どもを欲しがらないと思うから
- 妊娠・出産が精神的・肉体的に大変だから
- 年齢的に妊娠・出産が難しいから
- 健康上の理由で妊娠・出産が難しいから
- 不妊治療にお金がかかるから
- ほしいけれどもできないから
- 出産費用等の経済的負担が大きいから
- 子どもの医療費等の経済的負担が大きいから
- 育児休業期間中の所得保障が不十分だから
- 子どもの数に応じた手当等による経済的援助が不十分だから
- 就学前において幼稚園や保育所の保育料などの様々な費用がかかるから
- 義務教育期間において教育に関する様々な費用がかかるから
- 高等学校教育期間において教育に関する様々な費用がかかるから
- 大学教育期間において教育に関する様々な費用がかかるから
- 子どもの預け先がないから（保育所、一時的に預ける施設やサービスなど）
- 育児が精神的・肉体的に大変だから
- 育児に自信がないから
- 子どもが苦手だから
- 子育てに対する男性の参画が得られず、女性の負担が大きいから
- 少ない子どもに手をかけて育てたいから
- 育児に家族の協力が得られないから
- 育児の社会的支援体制が不十分だから
- 公園や道路の安全対策などが不安だから
- 住宅がせまいから
- その他

Q110. 実際にもつつもりの子どもの人数が、欲しいと思う子どもの人数より少ない理由のうち、最も重要な理由を選択してください。

- 仕事や趣味を優先したいから
- 仕事と子育ての両立が難しいから（仕事が忙しく子育ての時間がとれない）
- 職場の理解がないから（仕事を休めない、やめないといけない）
- 結婚が遅い（できない）から
- 配偶者やパートナーとの関係を大切にしたいから
- 配偶者やパートナーが子どもを欲しがらないと思うから
- 妊娠・出産が精神的・肉体的に大変だから
- 年齢的に妊娠・出産が難しいから
- 健康上の理由で妊娠・出産が難しいから
- 不妊治療にお金がかかるから
- ほしいけれどもできないから
- 出産費用等の経済的負担が大きいため
- 子どもの医療費等の経済的負担が大きいため
- 育児休業期間中の所得保障が不十分だから
- 子どもの数に応じた手当等による経済的援助が不十分だから
- 就学前において幼稚園や保育所の保育料などの様々な費用がかかるから
- 義務教育期間において教育に関する様々な費用がかかるから
- 高等学校教育期間において教育に関する様々な費用がかかるから
- 大学教育期間において教育に関する様々な費用がかかるから
- 子どもの預け先がないから（保育所、一時的に預ける施設やサービスなど）
- 育児が精神的・肉体的に大変だから
- 育児に自信がないから
- 子どもが苦手だから
- 子育てに対する男性の参画が得られず、女性の負担が大きいため
- 少ない子どもに手をかけて育てたいから
- 育児に家族の協力が得られないから
- 育児の社会的支援体制が不十分だから
- 公園や道路の安全対策などが不安だから
- 住宅がせまいから
- その他

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

Q111. 前問で答えた実際にもつつもりの子どもの人数は、コロナ禍（2019年12月以降）を経たことにより変化はありましたか。（1つ選択）

- 増えた
 - 減った
 - 変わらない
-

戻る

次へ

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

Q112. 減ったと回答した方に伺います。
減ったと回答した理由についてお答えください。（1つ選択）

- 経済的不安が増えたから
 - 精神的不安が増えたから
 - 社会的不安が増えたから
 - その他
-

戻る

次へ

ご回答を一時中断される場合は、「一時保存」ボタンをご利用ください。
「表示された画面」又は再度ログイン画面からログインいただくと、後で入力することもできます。

一時保存

結婚、男女関係、家庭、子どもをもつことについてはいろいろな考え方がありますが、下に例として①～⑮の考え方を示しました。それぞれについて、あなた自身はどのようにお考えですか。（それぞれ1つ選択）

Q113.

※本問では、賛成・反対の立場が取りやすいよう断定的な表現を用いています。また、必ずしも一般的ではない考え方も含まれています。

	まったく賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	まったく反対
①生涯を独身で過ごすというのは、望ましい生き方ではない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
②男女が一緒に暮らすなら結婚すべきである	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
③結婚前の男女でも愛情があるなら性交渉をもってかまわない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
④どんな社会においても、女らしさや男らしさはある程度必要だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑤結婚しても、人生には結婚相手や家族とは別の自分だけの目標をもつべきである	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑥結婚したら、家庭のためには自分の個性や生き方を半分犠牲にするのは当然だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑦結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑧結婚したら、子どもはもつべきだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑨少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事をもたず家にいるのが望ましい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑩いったん結婚したら、性格の不一致くらいで別れるべきではない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑪結婚していなくても、子どもをもってかまわない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑫結婚した男性にとって、家族と過ごす時間は仕事よりも重要だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑬結婚した女性にとって、家族と過ごす時間は仕事よりも重要だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑭女性が最初の子どもの産むなら20代のうちがよい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑮男性どうし、女性どうしの結婚があってもかまわない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q114. 晩婚化、未婚化が進んでいると言われる中で、それらの主な原因はなんだと思いますか。（3つまで選択）

- 結婚に向けた行動をする時間的余裕がない
- 適当な相手にめぐりあう機会がない
- 相手との人間関係を築くことが面倒または難しい
- 結婚すること、結婚しないことに世間のこだわりが少なくなった

- 若者の親離れや親の子離れができていない
- 家庭をもつ経済力がない
- 独身の方が自由で気楽
- 家事への負担感
- 子育ての経済的負担感
- 子育ての精神的、肉体的負担感
- その他

Q115. 今後、晩婚化や未婚化に歯止めをかけるための特に必要な対策は何だと思いますか。（3つまで選択）

- 若者の就業への支援
- 出会いの機会の提供等の結婚支援
- 結婚の意義やメリットについての啓発
- 社会全体で若者の結婚や子育てを応援する意識づくり
- 乳幼児期から学童期の子育てにかかる経済的負担の軽減
- 乳幼児期から学童期の子育てにかかる精神的、肉体的負担の軽減
- 大学教育費用の負担軽減
- 仕事と家庭生活の両立支援
- 結婚新生活にかかる費用の負担軽減
- 必要ない
- その他

Q116. 新潟市で行っている次の①～③（③は民間自主運営）の取り組みについて知っているかどうかお答えください。（それぞれ1つ選択）

	知らない	知っている	知っていて利用したいと思う※利用したことがあるを含む
①新潟市結婚応援 結パスポート 地域のお店や企業等で様々なサービスを受けることができる結婚応援「結パスポート」を結婚予定や新婚カップルに配布します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
②新潟市結婚新生活支援補助金 新たに婚姻する世帯の住宅取得や住宅賃貸、引越しにかかる費用を補助することにより、結婚に伴う経済的負担を軽減します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
③新潟市婚活支援ネットワーク 新潟市婚活支援ネットワークの参加団体が、新潟市の認定を受けて、出会い・婚活イベント、各種セミナーを行っています。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q117. 次の①～③のそれぞれについて知っているかどうかお答えください。（それぞれ1つ選択）

	知っ	知ら
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

	て い る	な い
①「不妊症」について知っていますか ※不妊症とは、妊娠を希望する男女が一定期間（2年間が一般的）性交渉をもっているにもかかわらず妊娠しない場合と定義されています。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
②「不育症」について知っていますか ※不育症とは、妊娠しても2回以上の流産・死産もしくは生後1週間以内に子どもがなくなってしまう場合と定義されています。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
③「卵子の老化」について知っていますか ※卵子の老化とは、卵子は年齢を重ねるほど減り続け、また卵子自体も年を取り妊娠しにくくなる、あるいは受精しても流産してしまうなど妊娠が成立しにくくなります。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q118. 本調査について、あるいは結婚、出産、子育て、少子化、人口問題などについて、ご意見などがございましたら、下の欄にご自由にご記入ください。

(特段のご意見等なければ空欄のまま構いません。)

抽選で合計100名様に「QUOカード（500円）」をプレゼント

ご回答いただいた方の中から、抽選で合計100名様に「QUOカード（500円）」をプレゼントいたします。

応募する場合は、住所・氏名を入力してください。なお、希望しない場合は空欄にしてください。

※連絡先は、プレゼントの抽選以外の目的で利用されることは一切ありません。また、アンケートの回答内容について個人を特定することはありません。

当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

Q119.<住所>

- 郵便番号検索

Q120.<氏名>

姓 名

Q121. 住所・氏名に間違いがないか再度ご確認ください。
(番地の入力漏れ等)

- 間違いありません。プレゼントに応募します。
- プレゼントには応募しません。

[戻る](#)

[回答](#)